

☆プラネタリウムが来たよ☆

2022. 6. 29

こども文化科学館の方に4・5歳児クラスを対象に星や七夕のお話をして頂きました。今日までに、星座の図鑑や掲示を見たり、七夕飾りを作って飾ったりして、この日を楽しみにしていたみんなでした。



室内が暗くなりプラネタリウム室のようになると、ワァ〜ッと歓声があがり「ママとパパと一緒に(に行って)楽しかった」とお家の人の経験を伝えたり、星の形によって色々なものに見えることや名前があることを知り、何座か当てるクイズでは「さそり」「いるか」などと言葉にして伝える姿が見られました。

七夕のお話もとても興味を持って聞いていました。

保育室に戻ると色々な星型の折り紙や画用紙を見つけ「〇〇の星作りたい」と、お話を通して膨らんだイメージを表現する活動が始まりました。

「ハートの星できた」「ロボット星作った」「流れ星やで」と、形作った作品を友達や保育者に見せて共感し合うことで、作る楽しさや充実感を感じていました。



また、押し入れ下スペースの青色の小部屋を夜空に見立て、「星貼ろう!」と壁や天井にセロテープで次々と星を貼っていき「なんかプラネタリウムみたい」「ほんまや」「ここにも(星を)貼ろう」「〇〇ちゃん(自分)はこっちにする」などと、友達と一緒にプラネタリウム作りを始めました。

完成すると並んで座り見回しながら「見て。星いっぱいや」「きれいな〜」「プラネタリウムや」「ちがうで、星の基地やで」などと話しながら達成感や満足感を味わっていました。



もうすぐ、七夕ですね…